



自他を大切にする

1948年12月10日に30条から成る世界人権宣言が国際連合総会で採択され、採択日を「人権デー」と定められています。この世界人権宣言の基本原則は、「すべての人は生まれながらにして自由であり、「同じ権利を等しく持っている」というものです。立派な経歴があるとか、善良だとか、年齢とか、そういったことは一切関係なく、全ての人が基本的な人権を持っています。日本では、この世界人権宣言の趣旨と重要性を広く訴えかけるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図るための週間として毎年12月4日から10日を人権週間と定め、様々な取組を行っています。今年のテーマは、「『誰か』のこと じゃない。」です。

いじめや虐待、子どもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や性的マイノリティ等に対する偏見や差別、部落差別（同和問題）といった多様な人権問題が依然として存在しています。これらの問題の解決には、私たち一人一人が多様な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。

さて、自由だからと言って、何を言っても良いということではありません。相手の権利を侵害することは認められていません。他の人に対して「ウザイ」とか「キモイ」とか「いなくなつて」「消えろ」など、こんな言葉を使ったことはありませんか。抵抗なく言っている人は言ったことさえ忘れてしまいがちですが、言われた人の心には大きな傷が残ります。それに対して、お年寄りに電車で「席をどうぞ」とか、階段で「荷物、持ちましょうか」と声をかけることは本当に勇気のいることです。しかし、その時の気持ちよさは、一生忘れないほどのものです。

「言葉」は人の心を傷つけることも、人の心を温める、あるいは、生きる勇気を与えることもあります。人は、相手の気持ちを想像して、相手の心を温かくする言葉をかける、そしてそのことが自分の心も温かくすることができます。人権教育の目標は「自分の大切さと共に他の人の大切さを認めること」ができるようになり、それが様々な場面で具体的な態度や行動に表れるようになることです。この人権教育の目標を達成するための取組のひとつとして、今年度、各学年で車椅子体験や点字体験、白杖体験を行いました。また、三年生の面接練習の中で、「なぜ、いじめは起こるのですか」とか「どうすれば、いじめは無くなりますか」と尋ねました。どの生徒も一生懸命考え、自分なりの考えを答えてくれました。

自分を大切にできない人は、自分以外の人を大切にすることはできません。まずは自分を大切にしてください。そして同じように他の人を大切にしてください。他の人を大切にすることは、他の人の気持ちを想像して、温かい言葉をかけることです。人権問題には「同和問題、障害のある人、高齢者、女性、子ども、外国人、LGBTQ」など様々なものがあります。どれもとても大きな問題です。解決できるのは皆さん一人一人の力です。

最後に、埼玉県を代表する詩人 宮澤章二さんのCMにも使われた有名な詩を紹介します。

「こころ」はだれにも見えないけれど 「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけど 「思いやり」はだれにでも見える

差別に出遭ったとき「だめだよ」とか、お年寄りに「席、どうぞ」と態度や行動に表してほしいと思います。



修学旅行説明会と授業参観

1年生は、昨年までも年度当初の授業参観とともに、11月におがわ学の学習発表会として授業参観を実施しておりました。しかし、2、3年生については、年度当初の学級懇談会の日に授業参観を行っていただけでした。そこで、今年度から3年生については進路説明会の日に、2年生については先日の修学旅行説明会の日に併せて授業公開を行いました。授業参観には、各クラス10名程度の保護者の方が来てくれればと思っていましたが、予想を上回り両学年とも5割程度の参観率でした。

ご参観いただいた保護者の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、昨年度までは12月に修学旅行を実施しておりました。12月に実施していた理由は、閑散期にあたり、①旅行者も少なく、移動や神社仏閣の見学がしやすい ②新幹線等の公共交通機関の代金も割引がされていた ③宿泊料金も安かった ということがあります。しかし、インバウンド等で12月の京都・奈良を旅行する人も多くなり、混雑し、路線バスでは乗ることができないという状況も発生していました。また、今年から12月が閑散期から外れ、新幹線等の割引がなくなることや物価高騰の関係もあり、1月に修学旅行を実施することといたしました。今年度の修学旅行では、旅行費を抑えるために電車で東京駅へ向かったり、2日目のタクシー観光を半日にしたりするなど工夫を凝らし、修学旅行の目的：自立の心を育てるとともに、学級・学年の絆を深める。

①日本の文化遺産等に接し、歴史・文化等について主体的に学習する。

②社会性・計画力・協調性・実行力を高め、集団の一員として行動する。

③仲間と友情を深め、学年全員が中学校生活の良き思い出をつくる。

を達成できるように取り組んでまいります。

1月は、例年、インフルエンザの流行期になります。生徒を含め、ご家庭でも健康管理について、十分注意していただき、元気に修学旅行に行ってきたと思いますので、ご理解ご協力の程、お願いいたします。

食品ロスへの貢献

給食委員会主催「残菜0キャンペーン」が行われ、1年2組、2年2組、そして5組が調査期間において、残菜0を達成し、表彰されました。

まだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物のことを「食品ロス」と言います。食品ロスは、大きな社会問題となっており、環境省から令和5年度の食品ロスは推計約464万トン（家庭からは約233万トン）と発表されています。食べ物を捨ててしまうのは、もったいないだけでなく、運搬や焼却する際に二酸化炭素を排出します。焼却後の灰の埋め立てにも環境負荷がかかるなど地球環境にも悪影響があります。また、今後の世界人口の増加を考えると、栄養不足で苦しみ、貧困に拍車がかかることも危惧されています。

給食でも残さず食べる、食べきれぬ量を配膳してもらうなど食品ロス削減のためにできることから始めてほしいと思います。

おめでとうございます

○小川和紙マラソン大会 第2位 ○○○○○ 第6位 ○○○○

○昇風林剣道大会 男子 第1位 ○○○○・○○○○・○○○○・○○○○・○○○○

女子 第3位 ○○○○・○○○○ ※若宮中学校との合同チーム

○埼玉県中学生都市対抗学年別大会 第1位 ○○○○・○○○○組

○人権作文コンクール埼玉県大会地区予選 優秀賞 ○○○○ ○○ ○ ○○○○

○中学生環境イラストコンテスト 佳作 ○○○○ ○○○○

○小川町民ソフトテニス大会 1年生男子の部 第1位 ○○○○・○○○○組

1年生女子の部 第1位 ○○○○・○○○○組